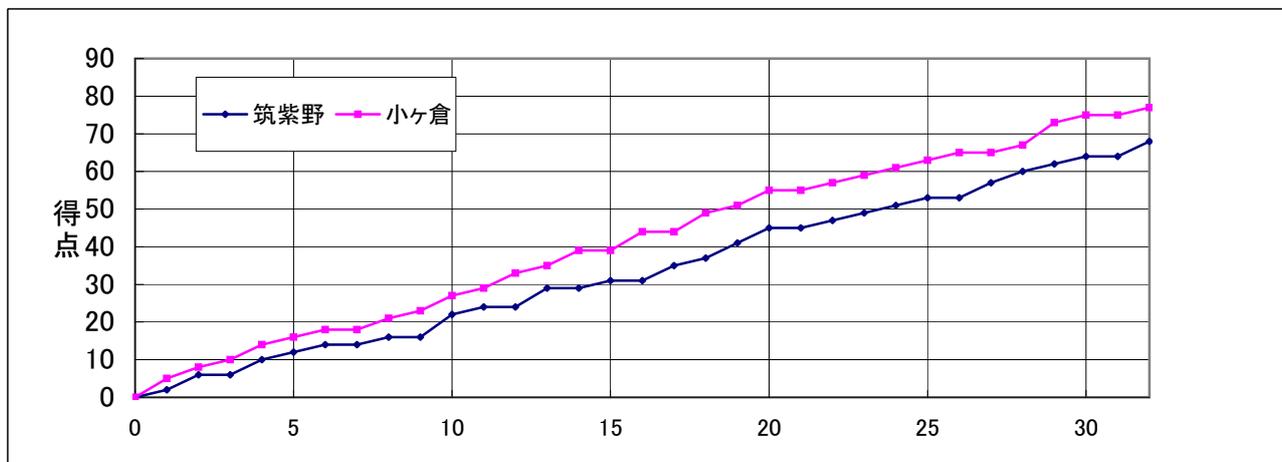


大会名	平成21年度 第30回全九州中学生 バスケットボール春季選手権大会	A4	13:30	男子決勝															
		筑紫野 68 (福岡1位) ●	<table border="1"> <tr><td>16</td><td>—</td><td>21</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>23</td></tr> <tr><td>20</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td>17</td><td>—</td><td>16</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	16	—	21	15	—	23	20	—	17	17	—	16	—	—	—	77 小ヶ倉 ○ (長崎1位)
				16	—	21													
15	—	23																	
20	—	17																	
17	—	16																	
—	—	—																	
2010年(平成22年)3月14日(日)																			
会場	大分県立総合体育館	主審 御手洗 亮 副審 三木 大介																	



1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
—	—	—	—

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 帯刀 滉暉(C)	6	0	3	0	3
5	* 砥綿 啓伍	17	1	6	2	4
6	* 野中 亮吾	16	0	8	0	1
7	* 中村 文紀	20	2	7	0	3
8	原田 成斗	—	—	—	—	—
9	鐘江 啓斗	—	—	—	—	—
10	添田 拓斗	0	0	0	0	0
11	市川 恭平	—	—	—	—	—
12	濱田 健太	—	—	—	—	—
13	* 安藤 琢郎	9	0	4	1	4
14	瀬戸 洸平	—	—	—	—	—
15	久松 龍孔	—	—	—	—	—
16	田代 浩太郎	—	—	—	—	—
17	上野 達也	—	—	—	—	—
18						
コーチ	帯刀 三寛					
合計		68	3	28	3	15

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
10:29	20:00 26:36	—	—

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 三根 一求(C)	14	2	4	0	1
5	* 松尾 舜弥	14	0	6	2	2
6	* 山口 智也	7	0	2	3	0
7	* 山口 悟	21	0	10	1	1
8	* 山下 竜平	16	0	7	2	0
9	松岡 慎弥	—	—	—	—	—
10	桑宮 亮	—	—	—	—	—
11	野口 大樹	0	0	0	0	0
12	岩崎 拓哉	2	0	1	0	0
13	井手 威大理	3	1	0	0	0
14	濱野 健太	0	0	0	0	1
15	橋本 悠	—	—	—	—	—
16	中山 阜生	—	—	—	—	—
17	川原 悠	—	—	—	—	—
18	多良 信哉	—	—	—	—	—
コーチ	三根 正美					
合計		77	3	30	8	5

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

## 戦評

男子決勝は、近年力をつけてきた福岡県第1代表の筑紫野中学校と2年連続決勝進出を決めた長崎県第1代表の小ヶ倉中学校との対戦となった。

第1Q、筑紫野#6野中のドライブで先制。筑紫野の2-3ゾーンに対して小ヶ倉#13井手の3Pで応戦。小ヶ倉#7山口のインサイドプレーに対し、筑紫野#4帯刀から#13安藤へのアシストプレーで対応。お互い高い走力と高い1on1の能力で点の取り合いとなる。16-21で小ヶ倉リードで終了。

第2Q、引き続き筑紫野は2-3のゾーン。それに対し小ヶ倉は#4三根から#7山口へのアシストプレーで引き離しにかかる。筑紫野は#5砥綿、#7中村の3P。小ヶ倉は#7山口のリバウンドシュートや速攻でお互いの持ち味をだし、残り5分31秒、24-27となったところで小ヶ倉がタイムアウトを取る。筑紫野はリバウンドが取れず苦しみ、残り2分、このゲーム最大の点差10点となる。小ヶ倉、残り5秒#4三根のドライブシュートが決まり31-44で前半を終了する。

第3Q、早めに点差を縮めたい筑紫野が、開始10秒#7中村の3P、#6野中のリバウンドシュート、#5砥綿の速攻で次々と加点。主導権を握らせたくない小ヶ倉は#4三根の3P、#8山下のインサイドプレー、#5松尾のバスケットカウントで対抗する。その後も筑紫野#5砥綿の個人技の1on1や小ヶ倉のリバウンドからの見事な速攻で会場を沸かす。残り4分、45-55の時点で小ヶ倉がタイムアウトをとる。残り2分を切り、筑紫野は#6野中を中心としたオフェンスを組み立て、小ヶ倉は#4三根の見事なバスケットでディフェンスを翻弄し点を重ねる。51-61で小ヶ倉リードで第3Qが終了する。

第4Q、インサイドを固めたい筑紫野は、引き続き2-3のゾーンを引くが、リバウンドが取れず苦戦。ディフェンスをオールコートに変更し、スティールに成功し加点。5分24秒、57-65となったところで、小ヶ倉がタイムアウト。筑紫野は流れをつかみかけたが、ディフェンスリバウンドを取られたり、小ヶ倉#4三根のドライブインが止められず点差が縮まらない。残り2分を切り、筑紫野が#4帯刀、#5砥綿、#7中村が3Pを積極的に狙うがカウントできず。落ち着いてゲームをコントロールした小ヶ倉が68-77で勝利し、長崎県勢初の春季九州大会優勝の栄光を勝ち取った。敗れたものの、筑紫野の見事なバスケットテクニックはとても印象的だった。来夏の中体連九州大会(大分大会)での活躍が楽しみな2チームである。

© 2010 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.0063

記者 村上、池田 (所属) 大分県バスケットボール協会